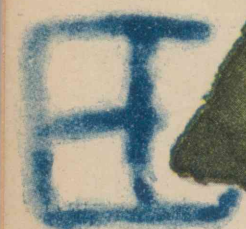
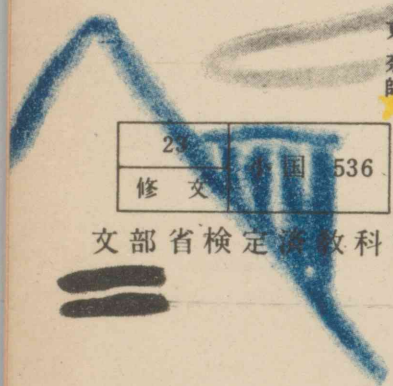


字の書方

東京芸術大学 石橋啓十郎監修
奈良女子高等 岡文雄著
師範学校 長岡文雄著

23 小国 536
修文

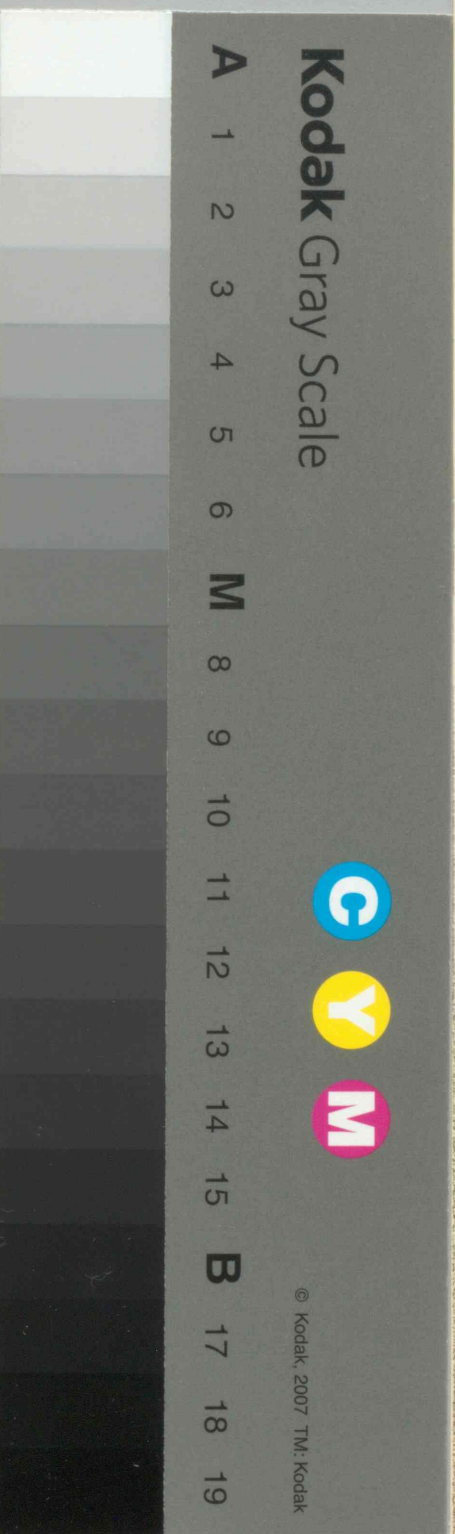
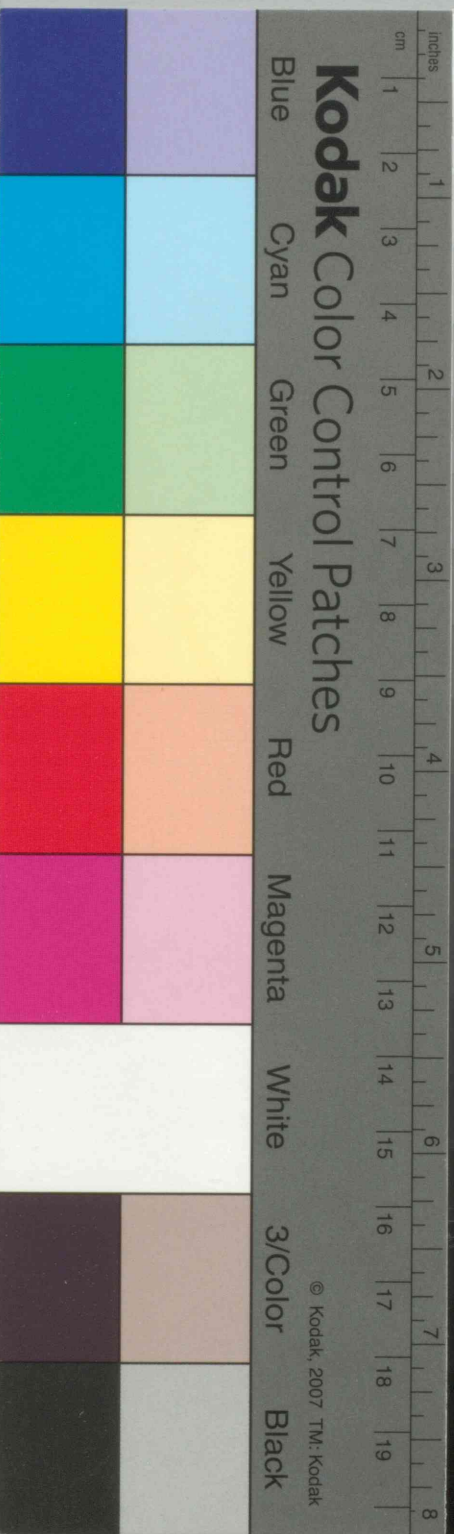
文部省検定漢教科書



5年
上



東京修文館



5360

60290

教科書文庫

6
720
34-1950
01304
49855



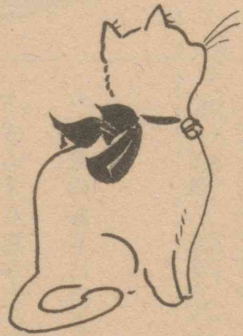
© Kodak, 2007 TM: Kodak



昭和 25 年 8 月 12 日
文 部 省 検 定 済
小 学 校 国 語 科 硬 筆 書 方

字 の 書 方

東京芸術大学 石橋啓十郎監修
奈良女子高等 長岡文雄著
師範学校



上
五 年

東京修文館

中央図書館

五年生のみなさんへ

- 一、ペンが正しくつかえるようになりましょう。
- 二、字形をくずさないではやく書けるようになりましょう。
- 三、漢字とかなが、つりあいよく書けるようになりましょう。
- 四、気持をつづけて書けるようになりましょう。
- 五、横書きがじょうずにできるようになりましょう。

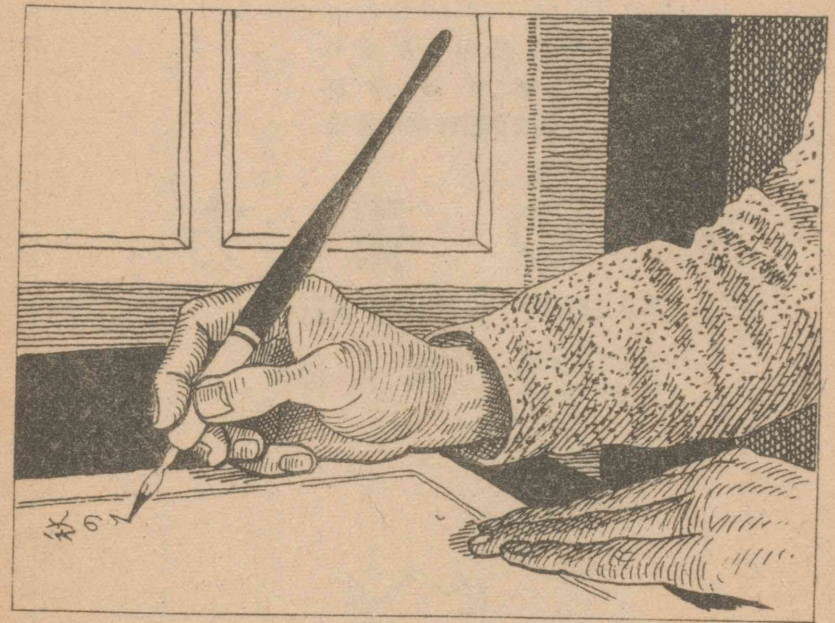
広島大学図書

0130449855





ペンのよいもちかた。



ペンは、えんぴつのように強くおさ
 えなくて書けますから、かるく持つ
 てすらすら書きなさい。
 ペン先のむきに気をつけて書きなさい。
 ペンと紙の角度はえんぴつのとときと
 同じくらいです。
 上の図をよくごらんください。つぎの
 点はどんなになっていますか。ゆび
 のかけかた、持つ高さ、ペンの角度、
 ペン先のむき、左の手。

あなたの学校の名を書きなさい。

あなたの学級の名を書きなさい。

あなたの名前を書きなさい。

あなたの家中の人の名前が書けますか。

受持の先生のお名前、校長先生のお名前も書けますか。書いてごらんください。

持物は、落したらすぐわかるように、どんなものにも名前をはっきり書いておきましょう。

ペ	に	今	自	教
ン	も	度	分	科
で			で	書
	名	二	名	や
て	前	年	前	
い	を	生	を	新
ね	書	に	書	し
い	い	な	い	い
に	て	っ	た	持
書	や	た		物
い	っ	妹		に
た	た	の		
		持		全
		物		部

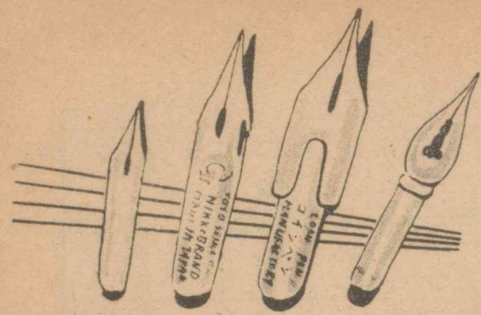


新		校	始
し	書	庭	業
い	を	の	式
希	い	さ	
望	た	く	い
が	だ	ら	よ
わ	い	の	い
い	た	花	よ
て		も	五
来		開	年
る		く	生
			だ
		科	

ペンはどうなのが書きやすいか、インクはどうなのがいかが、
しらべてみましょう。

インクがまじったからでした。	れて、うまく書けなくなりました。	をつけさせてもらったら、色がうす	インクがきれいだったので、友だちのもの	この間は、インクで失敗しました。	ンをおさえすぎたりしました。
----------------	------------------	------------------	---------------------	------------------	----------------

り、ペンの角度を立てすぎたり、ペ	た。はじめは、ペン先をねじらせ	使いはじめは、もう、だいなれまし	私のお正月のお年玉に、買
------------------	-----------------	------------------	--------------



ペンで書くのは、えんぴつで書くのより、どんなよい点があるか、考えてみました。

ペンで書いた字は、えんぴつで書いた字よりも、はつきりしていて、読みやすく、それにも、えんぴつの字のように、取りあつかっている

間に、うすれてきて見えなくなったりも
しません。また、お手紙など、えんぴつで
書いたのより、心がこもっているような気持
がします。

ただ、書きちがえた時にかんたんに
消せないのがこまることです。

み	歩	く	る	自	目
ん	し	る	こ	分	で
な	た	た	と	の	わ
に	か	び	も	字	か
負	が	に	で	を	る
け	わ	み	き		よ
な	か	ん	る	ほ	う
い	っ	な	し	か	に
よ	て	が	順	の	な
う	楽		番	人	る
に	し		が	の	。
練	み	ど	ま	字	
習	だ	れ	わ	と	
し		だ	わ	く	
よ		け	っ	ら	
う		進	て	ら	
				べ	

	こ	番	学	こ	五
	れ	に	級	と	月
	か		日	に	か
	ら	か	記	ら	
		わ	は	学	
	全	り		級	学
	員	あ	全	会	級
	の	っ	員	で	日
	ペ	て	が	き	記
	ン	書		め	も
	の	い	出	た	
	字	て	せ		ペ
	が	い	き		ン
		る	ぼ		で
	ひ	の	の		書
	と	で	順		く

横書きは、どんなに書いたらきれいに見えるでしょう。

おく山の遠足の道で、大きなすぎの木が切りたおされているのを見た。

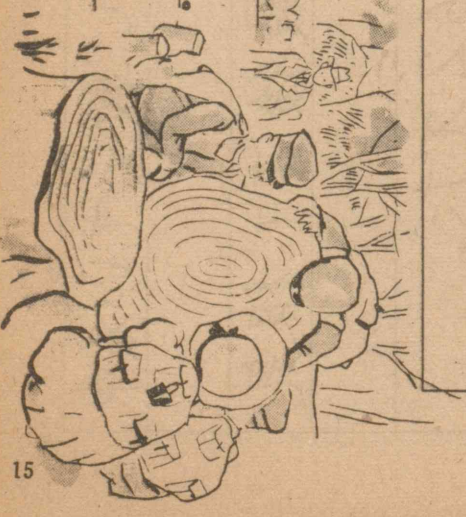
「ずいぶん大きいなあ、なん年ぐらいたった木だろう。」とさわいていると、先生がおいてなあって、「みんなであててごらん。」とおっしゃった。

みんな、年数をあてはじめたが、80年ぐらい

文字を行の下の線にくっつけて書くときれいですね。

とか、500年ぐらいたか、全くまちまちだった。すると先生は、「この切口に見える円い輪の数を書いてごらんさい。これがこの木の年の数だから。」とおっしゃった。

みんなは、さっそく数えにかかった。



とても80ぐらゐの数ではない。数えている中に、ついまちがえそうになる。最後まで根氣よく数えたら362あった。362才だ。

先生に、この切口の円い輪で、木の年がわかるわけを教えていた。だいた。

この円い輪を年輪というそうだ。木は春か

ら夏にかけて、ふとり方が早く、質がやわらかい。夏から秋にかけて、ふとり方が遅い。質がかたくできる。それで、やわらかい所と、かたい所が、かわりばんこに輪になってできるといふことがわかった。

年輪を、よく注意して見ていると、おもしろいことに気がついた。

それは、年輪のやわらかい質の所のははが、一方は広く、その反対の方はせまく、年輪の中心も一方にかたよっていることだった。

そして、年輪の間が広くのびている方角をしら

べると、日光のよくあたる、南側の方だった。

「いいことに気がついた」と、先生にはめられた。

植物の成長に、日光の大切なことがわかった。

木のえだにも気をつけて見ると、これも南側によくのびている。



郵便はがき

東京都中野局区内
野方一ノ二五

川口信造様

奈良県奈良局区内手貝町
一三

川口正男

七月五日

はがきの表の書き方

- ・あて先の人の名前は、まん中にゆったりと大きく書きます。
- ・あて先の住所は、長い時には二行に分けます。この時つづいたことばを分けるかわりにくくなるから注意します。
- ・だれにでも読めるように、はっきり書きます。
- ・なるべく配達局名を書くようにします。
- ・自分の住所氏名は、切手の下の方に小さく書きます。
- ・日づけは切手の左下に書きます。

はがきの本文の書き方

- ・先方の人に、はっきり読めて、わけがわかるように書きます。
- ・一方にかたよったり、行がゆがんだりしてみにくくならないように注意して、調和よく書きます。上下左右のはしの方は少しあけるとおらつて見えます。

暑くなつてまいりました。

おじさんには、お変わりございませんか。

夏休みに、おとうさんが上京される時、私も

つれていってくださることになりました。

うれしくて夜もねむれないくらいです。

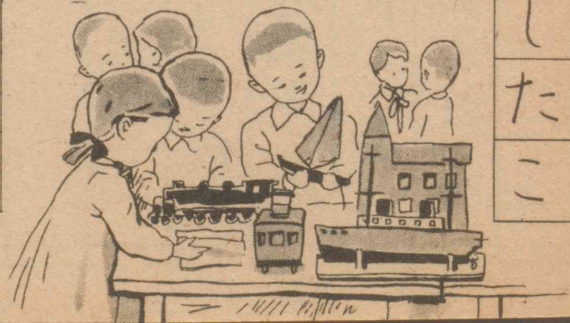
今から、毎日、鉄道案内図や、東京の地図を

ひろげて、いろいろしらべています。

おたずねする日を楽しみをしています。

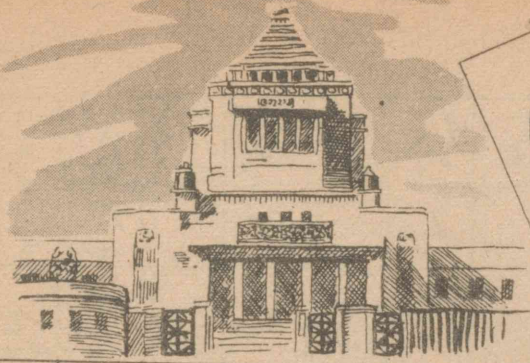
東京のおじさんへはがき
を書きました。

ど	星	休	友	と	と
で	の	み	だ	な	
	観	中	ち	ど	登
す	察	の	は		山
ば		作	い	話	を
ら	汽	品	い	は	し
し	船	も	な	つ	た
い	の	見	あ	き	こ
の	工	せ	。	な	と
が	作	あ	と	い	
あ		っ	思		旅
っ	植	た	っ		行
た	物		た		を
	採				し
	集				た
	な				こ



	と	み	ち	期	夏
	を	ん	の	が	休
	話	な	顔	始	み
	し	は	は	ま	も
	あ			っ	す
	っ	っ	特	た	ん
	た	づ	別		だ
		け	に	久	
	海	ざ	な	し	き
	水	ま	つ	ぶ	よ
	浴	に	か	り	う
	へ	休	し	に	か
	い	み	く	見	ら
	っ	中	感	る	第
	た	の	じ	友	二
	こ	こ	た	だ	学

郵便



私は、みんなに、東京旅行の話をした。

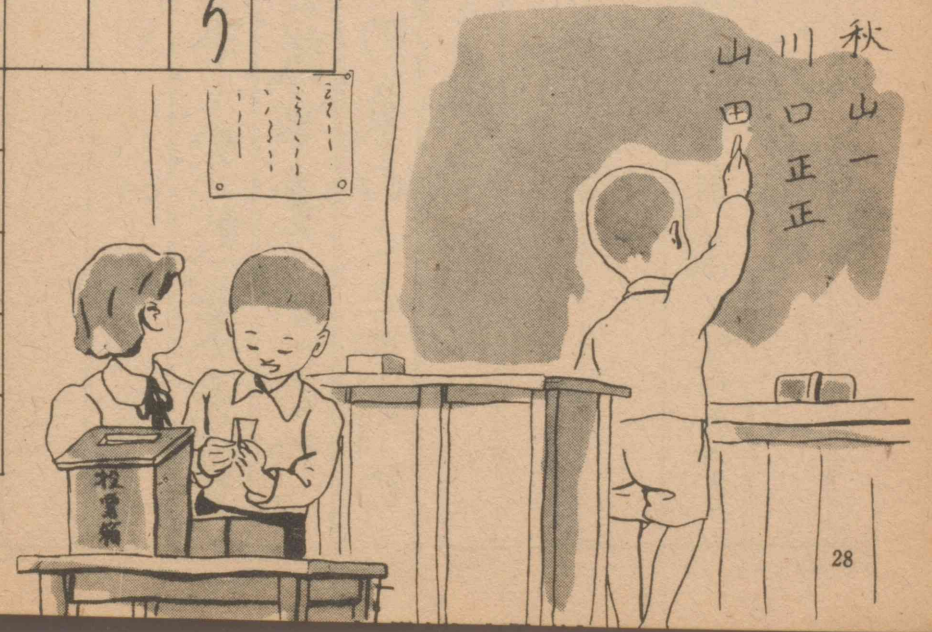
東海道線の汽車の上のことでは、きれいだ
だった。富士山のことや、東海道五十三次
で有名な、おおい川のことや、長かった、た
んなトネルのことなどを話した。

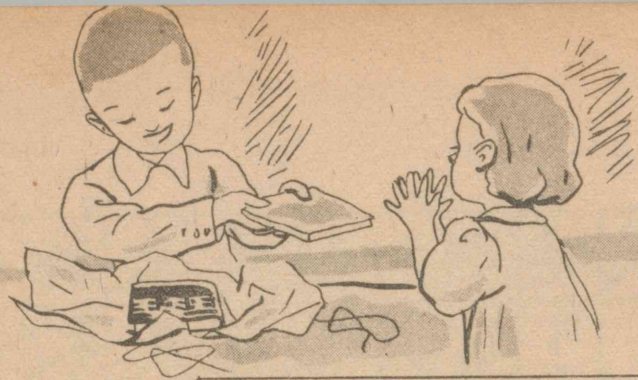
東京のことでは、大きくて美しかった。東京駅
や、まるビルや、皇居や、国会議事堂のことや、
めずらしかった上野動物園の象のことや、川の
ようにつづく自動車の話をした。

絵は、がきも見せた。議事堂の絵を見て、みんなが、
「それは、ゆうびんはがきについてたな。」といった。

た	な	私	第	つ	大
い	の	は	二	よ	部
と	た		学	う	分
思	め	新	期	に	の
う	に	聞	は	な	人
		係		っ	が
	り	で	み	て	
	っ	大	の		新
	ば	い	り	気	し
	な	に	の	分	い
	新	働	秋	も	仕
	聞	い	と	変	事
	を	て	い	っ	を
	編		わ	た	受
	集	み	れ		け
	し	ん	る		持

	の	と	私	無	学
	係	し	は	記	級
	に	子		名	委
	な	さ	新	投	員
	っ	ん	聞	票	の
	た	は	係	で	改
			に	選	選
		に	な	挙	を
		わ	っ	し	し
		と	た	た	た
		り			





右のわくをはがきだと考えて左の文をきれいに書きなさい。
 おじさんその後はごぶさたしました。
 お元気ですか。私も達者で勉強していますからご安心ください。
 すっかり秋になりましたが、いつまでも夏休みに東京へいったことを思い出します。
 きのはまた、本を送っていただいて、ありがとうございました。
 今、学習していることに、ちょうど役に立って、とてもうれしうございます。

新しい政治ということばから思い出したことばを書いてみた。

投	村	衆	平	新
票	会	議	等	し
		院		い
平	議		博	政
和	員	参	愛	治
文		議		
化	国	院	協	民
国	民		同	主
家	の	府		主
	代	県	責	義
新	表	会	任	
憲				自
法	選	市	国	由
	挙	町	会	

ひつじゅんのむずかしい字をけいこしました。

緑	植	成	順	側	対	望	希	敗	輪	始
緑	植	成	順	側	対	望	希	敗	輪	始
拳	選	願	案	都	変	質	読	最	根	当
拳	選	願	案	都	変	質	読	最	根	当
無	造	達	憲	愛	票	参	議	衆	梟	府
無	造	達	憲	愛	票	参	議	衆	梟	府
状	防	説	史	歴	械	機	輸	貯	放	角
状	防	説	史	歴	械	機	輸	貯	放	角
整	制	務	漢	築	筆	努	術	講	刷	印
整	制	務	漢	築	筆	努	術	講	刷	印

教師や父兄のかたへ

- 一、五年生の書き方指導のめあて
 - 1 ペンが正しく使用できるようにする。
 - 2 字形をくずさずに、速書できるようにする。
 - 3 漢字とかなが調和よく書けるようになる。
 - 4 点画はもちろん、文字と文字の間にも気脈をつづけて書けるようにする。
 - 5 横書きがじょうずにできるようにする。
- 二、五年生上、下の編集について
 - 1 四年生までの編集の発展として、前学年までと同様、主人公をおき、その生活経験を中心として、すじの通つた単元的なものにし、児童が生活的に興味をもって、自主的に学習するようにした。
 - 2 この学年児童の心理の発達段階に即し社会的要求を満足できるように内容をとりあげた。
 - 3 書き方の教科書であるから、ことばや文字はできるだけ平易であるようにした。
 - 4 手紙、葉書、日記、観察記録、標語など、日常のいろいろの書式にふれるようにし、横書きも多量にした。
 - 5 用紙は方眼から、縦けい用紙、原稿用紙、白紙などへと発展させ、文字の大きさも、この期にふさわしくした。
 - 6 配列は単元的にし、生活とむすび、変化を重んじ、しかも文字の書写力発展の系統にも即するようにした。
 - 7 さし絵を多くして、興味をもって学習できるようにした。
 - 8 練習のらんを多くし、練習の方法には変化をつけた。また進歩を確認しやすいようにもした。
 - 9 ペンの執筆図や、ペンの使用についての教材を多くして、ペンの正しい使用法がわかるようにした。
 - 10 巻末に一部のむずかしい文字の筆順表をいれて、正しい筆順で文字を書くようにすすめた。(表紙 山田史郎)



名前

Blank space for name

広島大学図書
0130449855
Barcode

Approved by Ministry of Education
(Date Oct. 3, 1950)

昭和二十五年十月三日印刷
昭和二十五年十月七日發行

著者 長 岡 文 雄

發行者 東京修文館
東京都千代田區神田神保町一の二五
代表者 鈴木金之助

印刷者 共同印刷株式會社
東京都文京區久堅町一〇八
代表者 大橋 芳 雄

發行所 株式會社 東京修文館
東京都千代田區神田神保町一の二五

小国 536 字の書方五年上
定價金拾壹圓五拾錢